

睦沢町

# 地震防災マップ

～自分の命は自分で守る～

災害に遭ってからでは遅い！  
そのために”今できること”



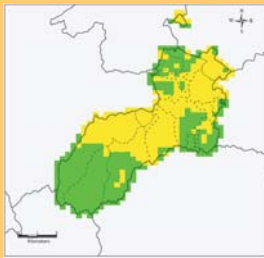
睦沢町役場 地域振興課

# 近い将来、睦沢町で起こると想定されている地震

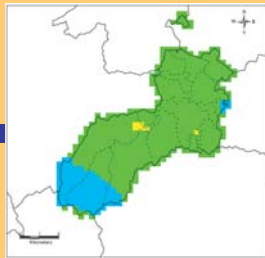
被害想定の対象地震は、近い将来（今後約100年間）千葉県に大きな影響を与える可能性のある以下の3つの地震を対象としています。

- ①東京湾北部地震
- ②千葉県東方沖地震
- ③三浦半島断層群による地震

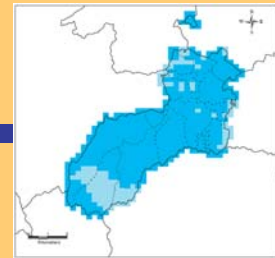
①東京湾北部地震



②千葉県東方沖地震



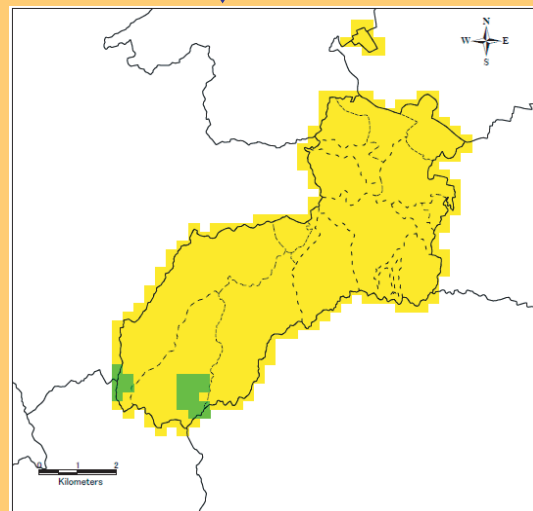
③三浦半島断層群による地震



重ね合わせ

各メッシュでの  
最大震度のもの  
を採用



揺れやすさマップ



■このマップの作成手順について

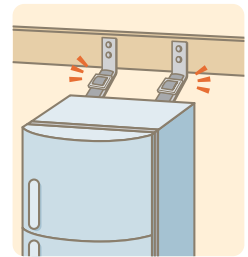
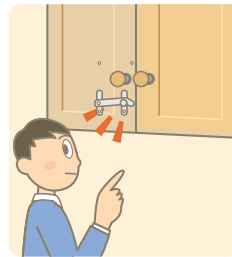
このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度（揺れの大きさ）を予測しています。

- 地域に大きな影響を及ぼすと考えられる地震3つを選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。
- それぞれの地震について、「地表面付近の揺れ」の大きさを計算します。
- 地域を250mメッシュに分割し、メッシュごとに地表での震度を求めます。
- これら3つの地震の各メッシュでの最大震度を採用し、重ね合わせた最大震度分布図を「揺れやすさマップ」として作成しています。

震度階級		人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
6 弱		立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
5 強		大半の人が、物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。

## 家具の固定と安全確保

- タンス、食器棚や本棚はL字金具や器具等で固定しましょう。
- 窓ガラスや食器棚などのガラスには、飛散防止フィルムを貼りましょう。
- タンス、食器棚や本棚については中味が飛び出さないように“さん”を付けましょう。
- テレビや冷蔵庫などは、金具やベルト等でしっかり固定をしましょう。



## 住宅の耐震化

耐震診断及び耐震改修工事への助成制度があります。



## ●耐震診断

昭和56年5月31日以前に着工された2階建て以下の木造住宅が対象です。

## ●耐震改修

住宅（マンションを除く）の耐震改修工事費の補助を行います。町が定める耐震診断を受けていることが前提となります。詳細は、下記の担当課にて相談を受けつけます。もしくは、お電話でお問合せ下さい。

《お問合せ》

睦沢町役場 地域振興課 電話0475-44-2507

## 避難場所、連絡方法などの確認

- 家族や近所の人と一緒に避難場所や連絡方法を確認しておきましょう。

わが家の避難場所	
緊急連絡先	

## 備蓄品

非常食	<input type="checkbox"/> そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるものを準備しましょう。アルファ米、レトルトのごはん、保存のきくパン（市販されている缶詰）、缶詰、レトルトのおかず、インスタントラーメン、切り餅、チョコレート、氷砂糖、梅干し、インスタント味噌汁、チーズ、調味料など。
水	<input type="checkbox"/> 飲料水は1人1日3リットルが目安です。ミネラルウォーターの保存期間はペットボトルで2年、缶で3～5年程度です。（冷暗所に置いた場合） <input type="checkbox"/> 生活用水の確保も忘れないようにしましょう。お風呂の水は次に入るまで抜かず、フタをしておいたり、寝る前はいつもポットややかんに水を入れておきましょう。
生活用品	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ、携帯コンロ、固形燃料など。ガスボンベのストックも忘れずに準備しましょう。 <input type="checkbox"/> 毛布、寝袋 <input type="checkbox"/> 洗面用具、ドライシャンプー、ポリタンク、トイレトーパー、なべ、やかん、バケツ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ、さらし <input type="checkbox"/> ロープ、バール、スコップなどの工具 <input type="checkbox"/> 新聞紙（燃料、防寒）、ビニールシート（敷物、雨よけ） <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ（荷物の整理、止血、ガラスの補修） <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ（止血、汚れた皿にかぶせて使う） <input type="checkbox"/> ペットフード（ペットがいる場合） <input type="checkbox"/> 自転車 など

## 非常持出品

携帯ラジオ	デマに惑わされないように正しい情報を得るために必要です。小型で軽く、FMとAMの両方が聞けるものを準備しましょう。予備の電池も多めに準備しておきましょう。
懐中電灯 ろうそく	停電時や夜間の移動に欠かせないものです。 懐中電灯はできれば1人に1つ用意し、予備の電池も準備しましょう。 ろうそくは太くて安定のよいものを準備しましょう。
ヘルメット (防災ずきん)	屋根瓦や看板などの落下物から頭部を守るのに有効です。避難路は転倒事故も多いので必ず準備しましょう。
非常食・水	カンパン・缶詰・栄養補助食品など調理せずにそのまま食べられる物、ドライフーズ、ミネラルウォーターなどを準備しましょう。 乳幼児・お年寄り・病人がいる場合は、缶詰やびん詰の離乳食、粉ミルク、レトルトのおかゆなども必要に応じて用意しましょう。
生活用品	ライター、マッチ、ナイフ、缶切り、ティッシュ、ウェットティッシュ、雨具、ビニール袋、生理用品などが必要です。赤ちゃんがいる場合は、哺乳瓶も用意しましょう。
衣類	下着、上着、手袋（軍手）、靴下、ハンカチ、タオル、赤ちゃんがいる場合は紙おむつなども準備しましょう。
応急医薬品	ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、かぜ薬、鎮痛剤、目薬、とげ抜き等を準備しましょう。持病のある人は常備薬も忘れないようにしましょう。
貴重品	現金、預貯金通帳、印鑑、免許証、権利証書、健康保険証等が必要です。住所録のコピーもあると便利です。 現金は紙幣だけでなく、公衆電話用の10円硬貨やテレホンカードもあると便利です。

## 3

## 災害時行動マニュアル

### 災害時行動マニュアル

自分や家族の安全を守るためには、地震が発生しても、慌てずに行動できるかがポイントになります。いざというときにパニックにならないように、地震発生からの行動パターンを覚えておきましょう。

# あわてず、落ち着いて!!

## 地震発生

### 避難する場合は

- ガスの元栓を閉めた
- ブレーカーを落とした
- 自宅の施錠をした
- 非常持出品を持った
- 外出中の家族への連絡メモ
- 避難に車は使用しない
- 狭い路地は要注意

#### 1 身の安全の確保



#### 2 火の始末



#### 3 ドアを開けて 逃げ道を確認



#### 4 家族の安否確認



#### 5 靴をはく



#### 6 テレビ・ラジオで 情報収集 (停電時は車のラジオも有効)



#### 7 自宅および自宅周辺 の被害状況を確認



#### 8 近隣の 消火・救助活動

